

右又申 被殺方

ニ 被殺方ニ

轉シテハ一日三日四日五日六日七日八日九日十日十一日十二日十三日十四日十五日

十六日十七日十八日十九日二十日二十一日二十二日二十三日二十四日二十五日

ニ 被殺方ニ

ニ 被殺方ニ

別記

日本橋の江戸見諸君の仁侠の訴ふ

日本橋葺屋所三番地麻糸問屋小竹市三郎氏の長女千子さんは府下辰久所大東工  
業株式会社の副社長田島 恩と去る三月六日華燭の典を上が東京会館で大披露宴を催  
した。此時職工一同は記念の時計を贈り心から祝した。

突然の餓首

結婚式直後の三月十八日四年と勤続した職工三名が社風に合はぬと言ふワケノワカラ  
ナイ理由で突然首切りにあつたのだ。

諸君！若し千子さんが家風を合はぬとて離縁になす可い筈にすむであらうが  
十四五歳の幼年男女に夜の十一時を過ぎ業強刑に三月月と三月月と休まなく酷使しを控  
りたり控り取らざる重夜は數萬圓を投じて結婚式をお立てののだ。二人は簡單なクダ  
ラナイ理由でボリ／＼首を切り取られたまのしうわは無い。二百五十名の職工は幾度となく復  
職の懇願をしても田島は逆を廻つて一回も會合をしないを拒絶してしまつたのを遂に手議と  
なつた。

馬賊の如き重役

狼狽したる會社は眞夜中二時頃トラック三臺に暴力團を乗せて争議園負完を襲  
撃し、人をカツサライ恰七支那の馬賊に等しい乱暴をやって居る。

今度の此の大騒動も田島副社長が大正十年千葉の鉄道隊で一等卒をサガレンク派